

中野市 地方への移住意向調査 結果報告書

2015年7月17日

※調査結果の要約のみ掲載しております。

目次

■ 調査概要	P 2
■ 調査結果の要約	P 3
サマリー1.具体的な移住意向状況	P 4
サマリー2.移住先検討時に重視 & 求めること	P 5
サマリー3.移住先検討時に困る & 不安なこと	P 6
サマリー4.中野市への訪問状況	P 7
サマリー5.中野市のホームページ印象 & 感じたこと	P 8
今調査からわかったこと	P 9
■ 調査結果の詳細	P 11
■ 地方(一都三県以外)への移住意向の実態	P 12
地方(一都三県以外)への移住意向	P 13
地方(一都三県以外)への移住意向時期	P 14
地方(一都三県以外)への移住意向先	P 15
地方(一都三県以外)への移住先検討時に重視する内容	P 17
地方(一都三県以外)への移住を検討する上で困っていること(3つまで)	P 19
地方(一都三県以外)への移住を検討する上で不安なこと(3つまで)	P 20
地方(一都三県以外)への移住先に求める内容(3つまで)	P 21
■ 中野市への移住意向	P 22
「中野市」への理解度	P 23
「中野市」の訪問状況	P 24
「中野市」を訪問した理由	P 25
中野市付近の観光地/施設の訪問状況	P 27
呈示画像	P 29
中野市ホームページの印象	P 30
「中野市」の移住先としての意向	P 33
「中野市」について感じたこと	P 34
■ 移住意向者プロフィール	P 35
家族構成/子供・お年寄りとの同居有無	P 36
居住エリア/出身地	P 37
現在の住まい/現住まいの居住歴	P 38
職業	P 39
個人年収/世帯年収	P 40
■ 付録:調査票	P 41

調査概要

- 調査目的 : 長野県中野市への移住者誘致に向けて、移住意向のある方の「移住意向の実態」「中野市への評価」を把握し、インプットとする。
- 調査対象 :
 - ・マクロミルモニタ 20～64歳の男女
 - ・一都三県在住の方
 - ・一都三県、海外以外への移住意向がある方
 - ・下記業種従事者を除く
→旅行業、不動産業、サービス業（旅館・その他の宿泊所・娯楽業）、調査業・広告代理業
- 調査地域 : 一都三県
- 調査方法 : インターネットリサーチ
- 調査時期 : 【事前調査】2015年6月17日(水)～6月19日(金)
【本調査】 2015年6月19日(金)～6月20日(土)
- 有効回答数 : 【事前調査】8,879サンプル
【本調査】 1,036サンプル

割付表

(N)

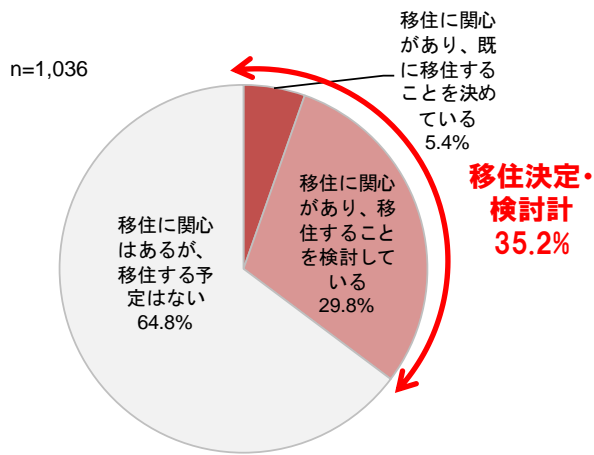
	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	合計
男性	(114)	(114)	(114)	(114)	(62)	(518)
女性	(114)	(114)	(114)	(114)	(62)	(518)
合計	(228)	(228)	(228)	(228)	(124)	(1,036)

- 調査実施機関 : 株式会社マクロミル

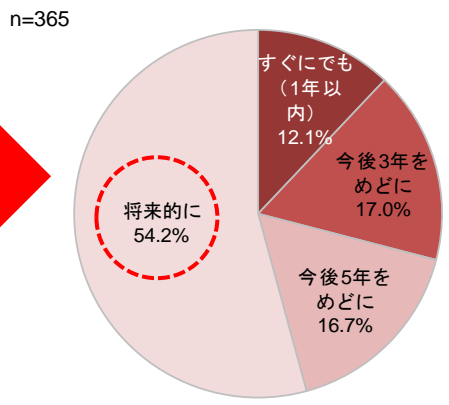
調査結果の要約

サマリー1.具体的な移住意向状況

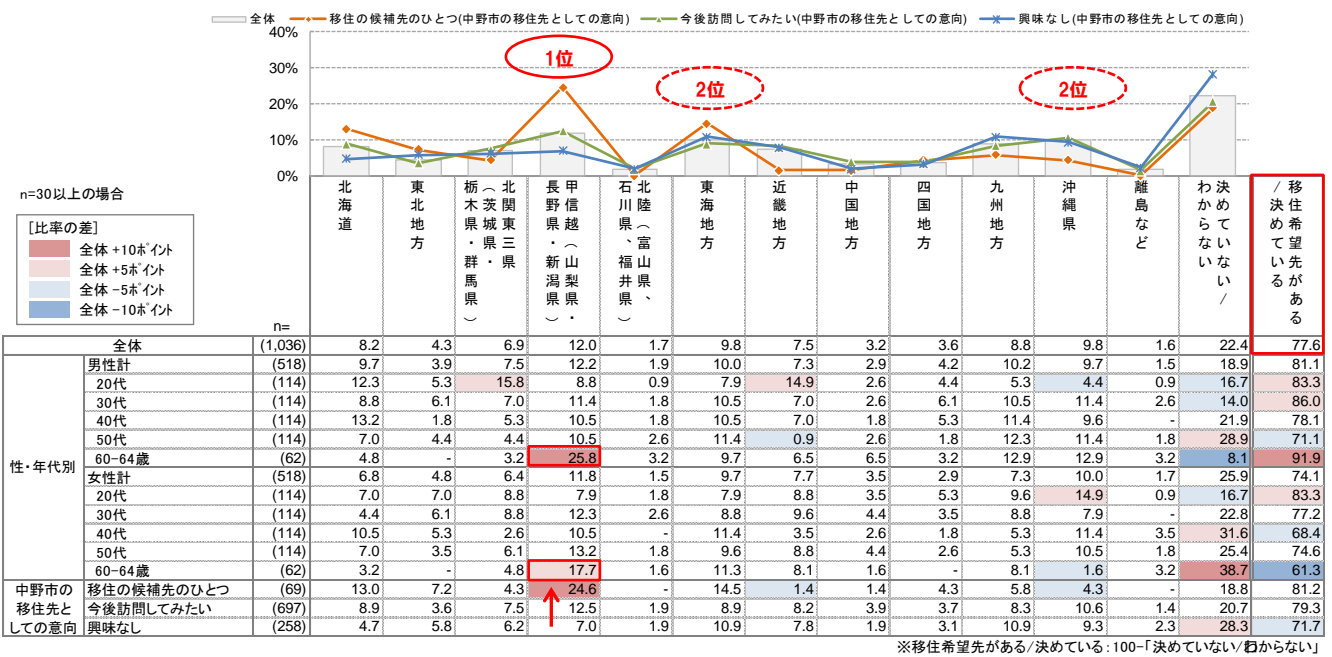
◆地方(一都三県以外)への移住意向(Q10)



◆地方(一都三県以外)への移住意向時期(Q11) ※移住決定・検討者ベース



◆地方(一都三県以外)への移住意向先(Q12)



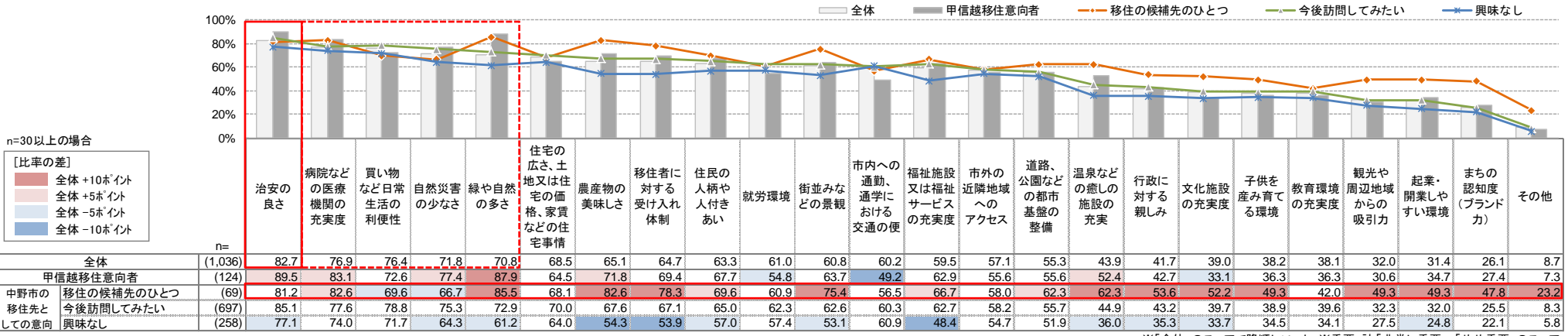
■地方(一都三県以外)への、『移住決定・検討者』は3人中1人の35%。ただし、そんな層でも移住意向時期として、「将来的に」(54%)が過半数を占める。⇒地方移住に対するハードルの高さが窺える。

■地方(一都三県以外)への移住意向先として、いずれか移住先の候補がある人は約8割。詳細のエリアとして、「甲信越」や「東海地方」「沖縄」が1割強と上位。なお、「甲信越」への反応は、男女60-64歳や中野市への関心が高いほど「甲信越」が高くなる。

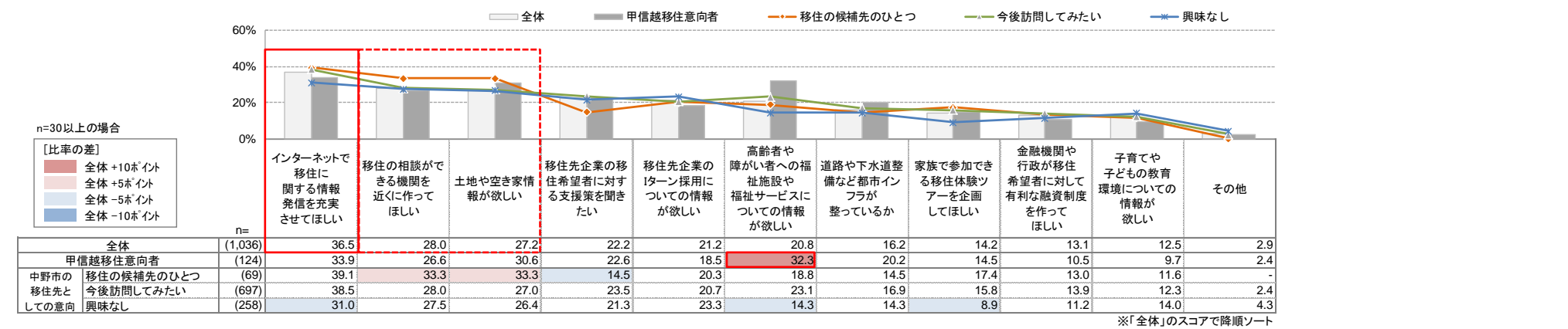
サマリー2.移住先検討時に重視 & 求めること

- 地方(一都三県以外)への移住を検討する際、「治安の良さ」「医療機関の充実」「日常生活の利便性」など「安全性」「インフラ」が重視されている様子が窺える。また、中野市を移住候補先としている層で、スコアが全般的に高いのが特徴的。
- 移住先に求めることとして、「インターネットでの情報発信の充実」に加え、「相談ができる機関の設置」「土地・空き家情報」が上位。また、甲信越移住意向者で「高齢者や障がい者への福祉情報」が高くなる。

◆地方(一都三県以外)への移住先を検討する際に重視する内容(Q14)



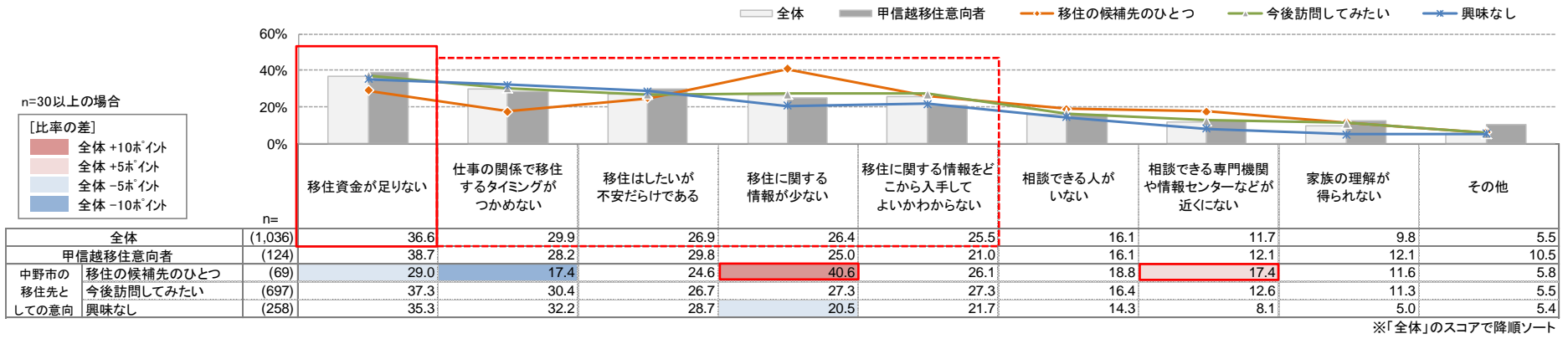
◆地方(一都三県以外)への移住先に求めること(Q17)



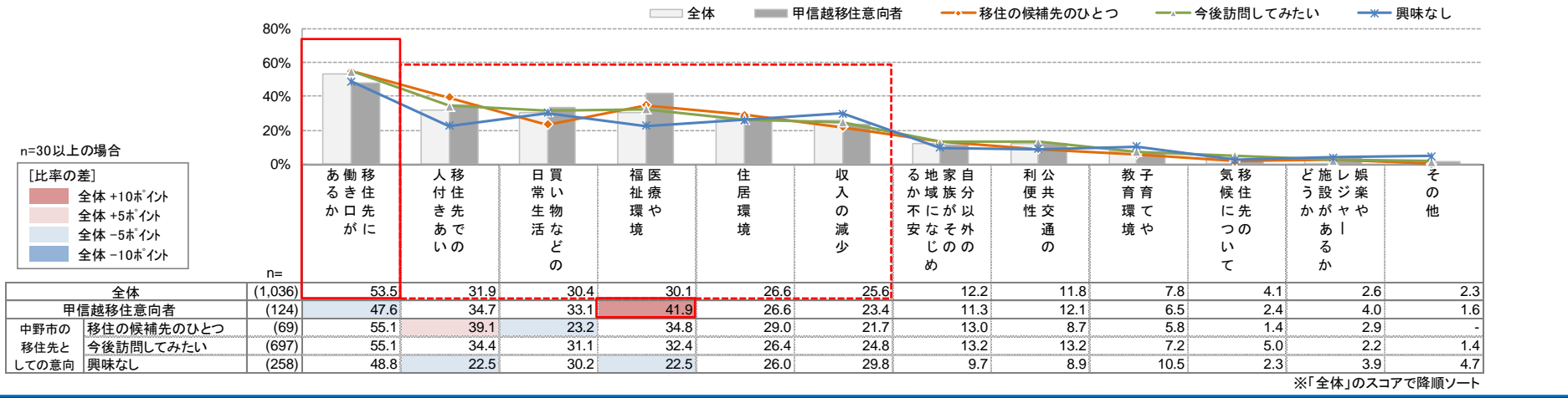
サマリー3.移住先検討時に困る＆不安なこと

- 地方(一都三県以外)への移住検討時に困っていることとして、「**資金**」「**就労**」「**情報不足**」が上位。
また、中野市を移住候補先としている層では「**移住に関する情報が少ない**」「**相談できる機関・センターが近くにない**」が高い。
- 不安なこととしては「**移住先の働き口の有無**」(54%)が際立ち、他「**人付き合い**」「**買い物や医療・福祉**」「**住まい**」「**収入**」も上位。
甲信越移住意向者では、求める事としても高い「**医療や福祉環境**」が不安でも高くなる。

◆地方(一都三県以外)への移住先を検討する上で困っていること(Q15)



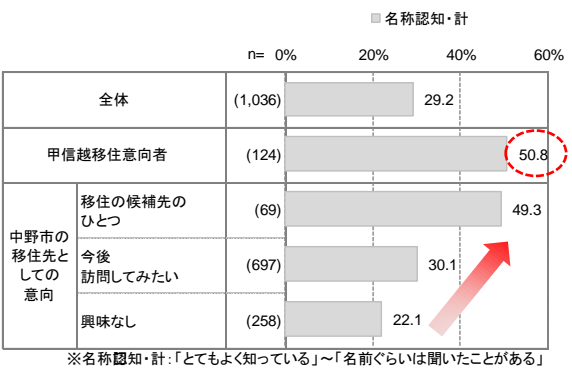
◆地方(一都三県以外)への移住先を検討する上で不安なこと(Q16)



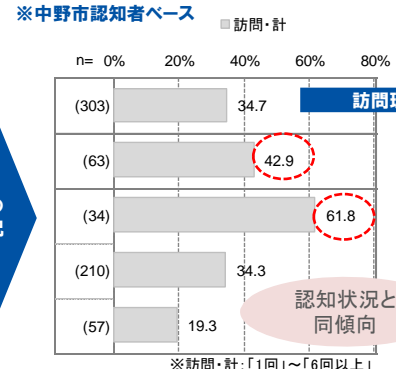
サマリー4.中野市への訪問状況

- 中野市の名称認知・計は約3割。甲信越移住意向者で約5割と高い。また、中野市への関心が高いほど認知も増加傾向。
- 訪問も認知者のうち3人に1人に該当する35%となり、甲信越移住者や中野市への移住検討者で高い。また、訪問は「レジャー・観光目的」が上位を占める。
- 中野市付近の観光地/施設の訪問状況では、「善光寺」「志賀高原・北志賀高原」「妙高高原」「野沢温泉」が上位となり、**中野市非認知者でもこれら観光地/施設は1割半ば以上**となる。また、甲信越移住意向者や中野市訪問者で総じて高くなる。
- 今後、中野市に「移住したい」は7%だが、「今後訪れたい」は6割半ばを占める。また、**訪問者の移住意向が約2割**と高く、『興味・計』も関与とともに増加傾向となる。

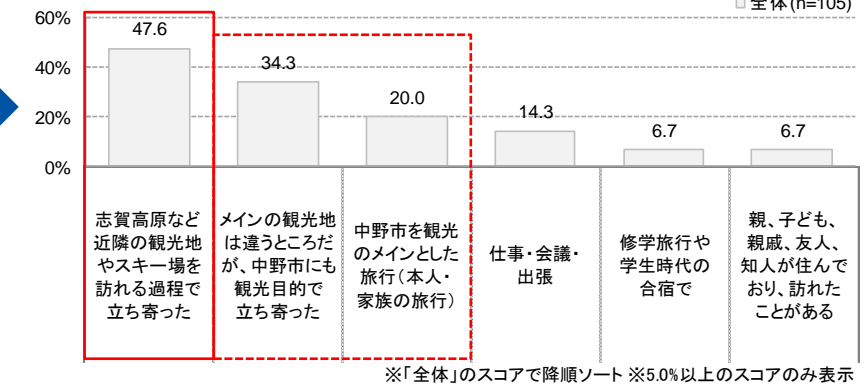
◆中野市の認知状況(Q18)



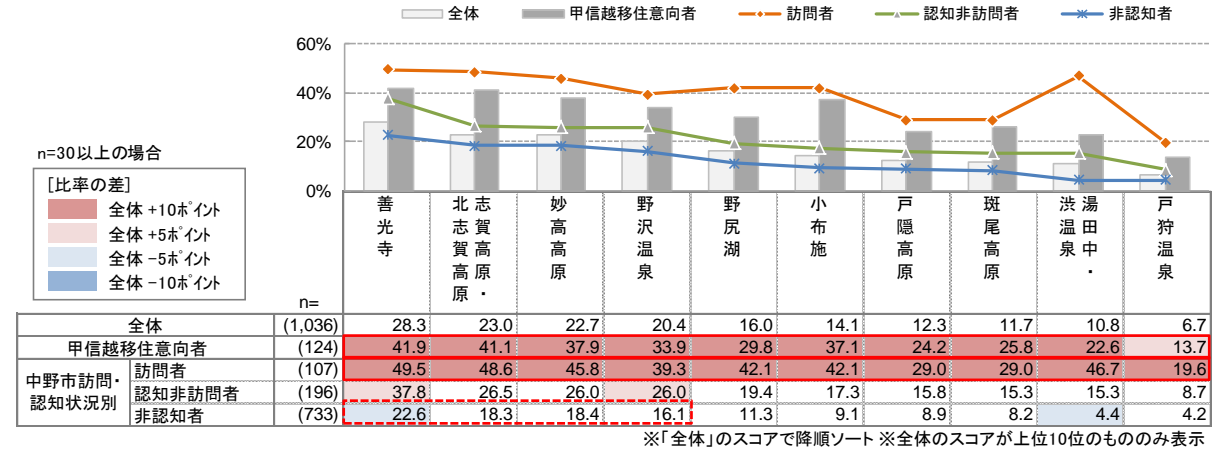
◆中野市の訪問状況(Q19)



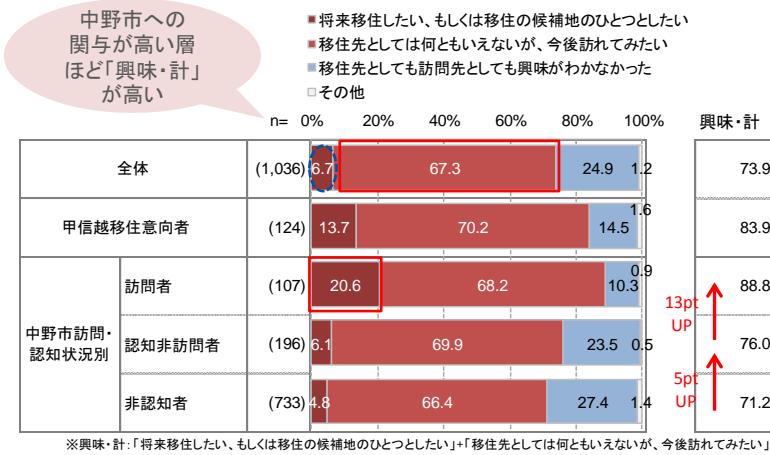
◆中野市の訪問理由(Q20)



◆中野市付近の観光地/施設の訪問状況(Q21)



◆中野市への移住意向(Q23)



サマリー5.中野市のホームページ印象 & 感じたこと

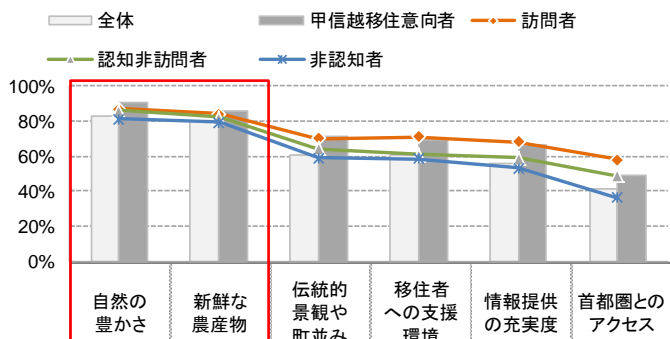
■中野市のホームページの印象をみると、「自然の豊かさ」「新鮮な農産物」(8割程度)が上位。

⇒ホームページ上の「目につきやすい範囲」にある情報が上位に挙がったものと思われる。

また、中野市訪問者で「移住意向者への支援環境」などリンク先のページにある情報のスコアも高い。

■ホームページ視認後の中野市に感じたことの代表意見を抜粋したところ、「自然・景観」「移住者への支援」には充実さを感じている一方で、「自然災害」への懸念や「インフラ・アクセス」「仕事・収入」は不安とする意見が見受けられる。

◆中野市ホームページ印象(Q22)



n=30以上の場合
[比率の差]

全体 +10%以内
全体 +5%以内
全体 -5%以内
全体 -10%以内

	n=	自然の豊かさ	新鮮な農産物	伝統的景観や町並み	移住者への支援環境	情報提供の充実度	首都圏とのアクセス
全体	(1,036)	82.9	80.4	61.2	60.3	56.1	41.0
甲信越移住意向者	(124)	91.1	86.3	71.8	69.4	66.9	49.2
中野市 訪問者	(107)	86.9	84.1	70.1	71.0	68.2	57.9
訪問・認知 認知非訪問者	(196)	86.2	82.1	64.3	61.2	59.2	49.0
状況別 非認知者	(733)	81.4	79.4	59.1	58.5	53.5	36.4

※「全体」のスコアで降順にソート ※魅力・計「とても魅力的」+「まあまあ魅力的」のスコア

中野市ホームページ



農産物、野菜のバナー

唱歌「故郷」のふるさと“信州中野”で暮らしてみませんか。



自然の豊かさ想起させる写真

◆中野市について感じたこと(Q24)～自由回答抜粋～

自然の豊かさ、景観について

- ▶ **キレイな景観**(男性 20-29歳・今後訪問してみたい)
- ▶ **自然が沢山ありとても魅力のある所。移住を推進している所なのでかなり興味がでた。**(女性 40-49歳・移住の候補先のひとつ)

寒さ・雪、災害について

- ▶ **災害が心配**(女性 30-39歳・今後訪問してみたい)
- ▶ 思いのほか寒暖差が激しく、近年の異常気象により、**豪雨や豪雪などによる被害が心配**(女性 50-59歳・今後訪問してみたい)

インフラ、アクセスについて

- ▶ **交通の便**がもう少し良ければと思います。(男性 40-49歳・今後訪問してみたい)
- ▶ 自然がいっぱいだけど、**教育や日々の生活の利便性が心配**(女性 20-29歳・興味なし)

仕事・収入について

- ▶ **仕事があるか**ということ、あったとしてもその年収で**老後まで生活できるのか**心配(女性 40-49歳・今後訪問してみたい)
- ▶ **働ける環境にあるか**(男性 60-64歳・今後訪問してみたい)

移住者への支援について

- ▶ 移住者に対して**受け入れ体制がしっかり**していて頼もしく感じました。(女性 30-39歳・移住の候補先のひとつ)

興味度、訪問意向について

- ▶ どんな所なのか気になるが**住むことは考えられない**。(男性 30-39歳・今後訪問してみたい)

今調査からわかったこと①

✓ 移住時に重視する内容→Q14_(P5,17,18)より

・移住先検討時の重視点として、「治安の良さ」「医療機関の充実」「買い物先」「自然災害の少なさ」が上位となるなど、「安全性」や「生活インフラ」を重視されている様子が窺える。

⇒治安に対する取り組みやその効果、医療・買い物場所の有無さなど、ライフラインに関する情報提供に加え、これらがしっかりと伝達するための工夫が必要と思われる。

✓ 移住先検討時に困る & 不安なこと→Q15・16_(P6,19,20)より

・移住先検討時に困ることの上位は「資金」「就労」「情報不足」に関する内容。

・不安なことの上位は「就労(働く場所・収入)」「日常生活(買い物・医療/福祉/住居など)」に関する内容。

⇒困る事だけでなく、求める事_(P5,21参照)でも上位に挙がることから、「情報を充実」させることは、移住者を取りこぼさないという視点において、非常に大事な点といえる。

特に困る・不安の双方で高い「就労」「日常生活」に関する情報を手厚くすることで、より効果が発揮されると思われる。

✓ 中野市への訪問状況とホームページ評価→Q18～22_(P7,8,23-32)より

・中野市の認知は約3割。ただし、甲信越移住意向者に限っては約5割、中野市への移住意向とともに認知も増加する。

・中野市への訪問は認知者の3割半ば。甲信越移住意向者や中野市を移住候補先としている層で高い。

なお、訪問目的は「レジャー・観光」が主。

・中野市付近のいずれかの観光地/施設の訪問状況は5割。中野市非認知者でも4割の人はどこかしらを訪問し、「善光寺」「志賀高原・北志賀高原」「妙高高原」「野沢温泉」といったメジャーな観光地の訪問率は1割半ばを超える。

⇒中野市への移住意向の高い人で、認知や訪問率が高いなど、双方に相関の関係性が認められるため、移住意向向上という観点において、認知率・訪問率の双方を高めていくことは自明の理といえる。

なお、中野市非認知者であっても、中野市周辺の観光地/施設への訪問者は見受けられるため、

とりわけ訪問率の高いメジャー観光地/施設での中野市PRは認知向上において少なからず効果があると思われる。

・中野市ホームページへの評価は、「自然の豊かさ」「農産物」など「HP上で目につきやすかった」情報が8割超と高くなる。

⇒上記にある移住時の重視・困る・不安で上位に挙がっている「就労」「安全性」「生活インフラ」に関する内容の伝達がまだ十分とはいえないため、HP上での分かりやすさ・目につきやすさなど改善の余地があると思われる。

- ✓ **中野市へ移住可能性のある人の潜在的なニーズの把握**→Q14、17、22_(P5,8,17,18,21,31,32より)
 - ・中野市を移住候補先としている層では、移住先に「**移住に関するネット情報の充実**」「**相談機関の設置**」「**土地・空き家情報**」を求め、移住時に“**自然環境**”“**医療機関の充実さ**”“**治安**”“**受け入れ体制**”など、多くの内容を重視。
 - ・中野市HPに対する反応は最も低い「**首都圏へのアクセス**」でも7割半ばと、総じて高い評価を得る。

⇒上記より、「**自然の豊かさ**」「**新鮮な農産物**」を前面に押し出した現在のHPは、**現在移住候補としている人達との親和性は高いと言える。**(現在も十分な評価を得ているが、)移住候補者が移住先に求める内容として高い、**空き家や医療機関などの情報量をさらに充実させることで、検討から移住決定に至る角度が高まるものと思われる。**
- ✓ **中野市の情報発信に対する課題(実際にHPを見てもらって魅力等が伝わるか)**→Q22_(P31,32より)
 - ・「**自然の豊かさ**」「**新鮮な農産物**」とそれ以外の情報とが約20pt以上の差となっている。
- ✓ **今後、中野市への移住者を増やすための有効な移住施策について**→Q24_(P34より)
 - ・HPから「**自然の豊かさ**」「**移住者への支援**」の魅力が伝わっている様子が窺える反面、「**インフラ**」「**雪・災害**」「**就労**」等に対する不安の意見も寄せられる。

⇒今後より多くの移住者を獲得しようと考えた場合、**ポテンシャルは小さいながらも、パイの多い訪問意向者を移住候補者に転換させることが最も有効であろうと思われる。**
彼らをHPを改善という観点から取り込もうと考えた場合、**現在、移住先への困る・不安内容として“就労”“日常生活”が高いため(P6,19,20参照)、これらを解消するような情報を充実させた上で、しっかり伝達されることがより大事になってくるとと思われる。**